

KINJO MIND

KIND

No.34

Kinjo
University
2022.3

■ 在学生ピックアップ

■ 後援会 活動報告

決算見込み及び経費執行経過報告
後援会による主な教育・研究支援について

■ 大学行事

公開講座

金城祭

第15回保健・医療・福祉創造フォーラム

新・金城イルミネーション2021 Break Out KINJO 2021

■ クラブ・同好会活動報告

■ 令和3年度金城大学卒業証書・学位記授与式及び
金城大学大学院学位記授与式

■ 令和4年度大学行事案内

後援会 活動報告

決算見込み及び経費執行経過報告

(購入備品・寄付状況等について)

令和3年度 決算見込み 収入の部 (単位:円)	
会 費	17,940,000
利 息	109
前年度繰越金	6,557,960
合 計	24,498,069

令和3年度 決算見込み 支出の部 (単位:円)	
学生活動支援費	9,500,000
就職・教育活動支援費	6,200,000
会員研修費	400,000
研究活動支援費	500,000
会 議 費	2,300
通 信 費	500,000
慶 弔 費	220,000
事務費負担金	500,000
広 報 費	500,000
雑 費	80,000
卒業記念品代	1,300,000
特別会計繰入金	1,000,000
合 計	20,702,300

次年度繰越金	3,795,769
--------	-----------

後援会による主な教育・研究支援について

学生活動支援費

環境整備として笠間キャンパスの駐車場整備や笠間・松任キャンパスの観葉植物設置、卒業式の援助に対して補助を行いました。

就職・教育活動支援費

年間を通じて、就職支援関係(専門職・一般企業及び接遇関係を含む)、国家試験支援関係、各種資格取得支援関係の対策講座を実施しており、例年、その経費の一部を補助しています。

研究活動支援費

4年生から提出された卒業論文・事例研究の要旨集や研究活動に対して補助しました。

広報費

年2回、会報誌「KIND」を発行し、会員の皆様へ後援会の活動報告や学生生活の現況、大学の最新情報等を提供しています。また、ホームページも随時更新し、後援会事業内容等の報告を行っています。

卒業記念品代

ボールペンセットを購入し、令和4年3月18日(金)卒業式当日、卒業生に贈呈しました。

※その他、各費目の詳細につきましては、令和4年度後援会総会(令和4年6月18日(土)開催予定)資料にてご報告させていただきます。

大学行事

公開講座

【令和3年5月15日～9月25日】

「金城大学・金城大学短期大学部公開講座」を実施しております。今年度はコロナ禍であることから、5月15日から9月25日にかけてオンデマンド配信にて全14講座を開催しました。本学が持っている教育資源だけでなく、外部講師による「白山市の魅力」やオンデマンド配信ならではの趣向を凝らした講座となりました。オンデマンド配信であることから遠方の方からも多数のご視聴がありました。

第15回保健・医療・福祉創造フォーラム

【令和3年11月20日】

11月20日に北國新聞社と共催する「第15回保健・医療・福祉創造フォーラム」を、本年度は「健やかな長寿社会を生き抜く」をテーマに、講演会とシンポジウムが行われました。

コロナ禍により高齢者等の外出自粛を余儀なくされる状況となり、特に高齢者の身体不活発を招くと同時に、心身機能が低下するフレイルの高齢者を増加させることにもなりました。そのため、今年度は、withコロナ時代を健やかに生き抜き、今後の長寿社会のあり方を問うために、フレイル対策や運動介入のトップオーサーである国立研究開発法人国立長寿医療研究センターの荒井秀典理事長と同日ハビリテーション科大沢愛子医長を講師に講演いただきました。

金城祭

【令和3年10月17日】

令和3年度の金城祭は、コンセプトに「大学、短大の壁なく学生みんなが楽しめる金城祭」、「Break Out—コロナを超えた新しい金城祭へ—」をスローガンに新型コロナウイルスの影響を受けオンライン配信となりました。

新・金城イルミネーション2021 Break Out KINJO 2021

【令和3年12月17日】

今年度のテーマは、金城祭のコンセプト「Break Out -コロナを超えた新しい金城祭へ-」を意識して「Break Out KINJO 2021」としました。新型コロナウイルス感染症に負けない元気や笑顔を絶やさないと、大学と短大、キャンパスの過去と未来、在学生と卒業生、学生と教職員、大学と地域など、KINJOに関係する様々な想いがイルミネーションの明かりを通じて広がっていくことを願い、笠間キャンパスで開催しました。

当日は冬の嵐となりましたが、約100人の方々が集まり、ミュージックベルやトーンチャイム演奏、オーブニングイベント用オリジナル映像、金城大学附属西南幼稚園園児によるクリスマスソング披露など、盛大に開催されました。



在学生ピックアップ

講義、演習、実習で得た多くの学びと
経験を成長の糧に信頼される看護師となる

看護学部 看護学科 4年 西倉 葉奈

私は中学生の時に祖父が入院した際に、病院で出会った看護師さんのようになりたいと思ったのがきっかけで、看護師を目指すようになりました。金城大学に入学し、さまざまな講義や演習、実習を通して多くのことを学ぶことができました。

特に臨地実習では、看護過程の展開、ケアの方法や注意点、患者様との関わり方など、国家試験の勉強をしていく上でも重要な学びを得ることができました。私の学年は、実習の大半がコロナ禍での実施となったことで、病院での実習期間の短縮や学内実習となることが多かったです。そのため、患者様と直接関わり、コミュニケーションをとることが、患者

様のことを理解し、個別性のある看護を展開していく上でとても重要だということを改めて実感しました。実習を通して、患者様や指導者の方々にかけていただいた言葉は、実習を行っていく上でとても励みとなりました。そして、看護師になりたいという思いもより一層強くなりました。

私は今年3月に卒業し、4月から新人看護師として病院で働きます。未だ新型コロナウイルス感染症で医療現場が逼迫している状況の中、自分が看護師としての役割をしっかりと果たしていきたいと思います。そして、患者様一人ひとりに寄り添い、患者様やご家族から信頼される看護師になりたいです。



子ども達の発見や気づきに寄り添える
保育士となるため視野を広げて深く考える

社会福祉学部 子ども福祉学科 3年 橋場 咲美

私は、小学生の頃からの夢である保育士になるために、金城大学に入学しました。入学したばかりの頃は、資格は保育士資格と幼稚園教諭Ⅰ種だけでもいいと考えていました。し



かし、社会福祉士の資格があれば将来きっと役に立つことがある。せっかく福祉の大学に来たのだから、取得しないのはもったいないという思いから、保育士、幼稚園教諭Ⅰ種、そして社会福祉士の資格取得を目指しています。大学

の講義を通して、保育の専門知識だけでなく、福祉という広い分野について学び、様々な制度や専門機関などを知ること、今ではより広い視点で子ども達や、その周りの人と関わっていくことが出来るのではないかと考えています。また、保育実習や幼児教育実習などを通し、実際に子ども達や、その子ども達の生活を支えている養育者の姿を見て、子どもと関わることがますます楽しいと感じられるようになりました。これからも、日々の保育の中で、目の前の子ども達の行動を、ただその子どもの特性だと考えるのではなく、その行動の背景にあるものが何であるのかを考えたり、子どもと同じ目線で物事を見たりして、その時々の子どもの発見や気づきに寄り添うことが出来る保育士でありたいと感じています。

新型コロナウイルス感染の拡大により、活動に制限がかかることが多い現状ですが、そのような現状に負けずに、今後も社会福祉士の資格取得のための勉強や、幼児教育実習等に励んでいきたいと思っています。

患者さん一人ひとりに適切な福祉用具を
勧められる作業療法士を目指して資格を取得

医療健康学部 作業療法学科 3年 福島 采里

現在、3年次の臨床評価実習に向けて、これまで習ってきた検査や評価、患者さんとの接し方など、学んだことを生かせるように復習を頑張っています。コロナ禍で、貴重な学外実習なので、2週間ですが現場でしか学べないことをたくさん吸収していきたいと思っています。

私は今年の夏、福祉住環境コーディネーター2級の資格を取りました。取りたいと思った理由は、授業を通して身体機能面や精神面の回復だけでなく、作業療法士になったら患者さんに

適切な福祉用具を選んであげたい、自分の知識の幅を広げたいと思い、この資格に魅力を感じたからです。

金城大学に入学したての1年生の頃、授業では聞き慣れない医療用語がたくさん出てきて、覚えることや慣れることが大変でしたが、生徒と同じ目線に立って色々なアドバイスしてくれる優しい先生方のおかげで、無事3年生になることができました。将来は、患者さんの心に寄り添える作業療法士になるために、まずは、来年7期生全員で国家資格に合格することを目標に、これからも勉強に励みたいと思います。



クラブ・同好会 活動報告

女子バレーボール部

活動 ●4/17、18 春季北陸三県大学バレーボール選手権大会代替強
内容 化練習会 ●7/4 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会
石川県ラウンド ●8/17～24 北海道遠征 ●8/26～28 長野遠征
●10/15～17 新潟遠征 ●10/29～31 全日本バレーボール大学女
子選手権大会北信越学連推薦チーム決定トーナメント戦 ●11/27～
12/1 全日本大学バレーボール選手権大会 ●12/9～11 天皇杯・皇
后杯全日本バレーボール選手権大会ファイナルラウンド

活動 【全日本バレーボール大学女子 選手権大会北信越
報告 学連推薦チーム決定トーナメント戦[Aブロック優勝】

●一回戦(準決勝)vs新潟大学:2(25-6,25-8)0
●二回戦(決勝)vs金沢星稜大学:2(25-13,25-13)0

【全日本バレーボール大学選手権大会[一回戦敗退】

●一回戦vs武庫川女子大学:2(25-21,20-25,19-25,27-25,10-15)3

【天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会[一回戦敗退】

●一回戦vs岡山シーガルズ:0(16-25,20-25)2



コミュニティサークル金梅

活動 ●1.地域・ボランティア活動における必要な知識と技術習得のた
内容 めの勉強会を実施。●2.石川県がん安心生活サポートハウス「は
なうめ」で活動する「くるみカフェ」(小児がん経験者と家族の会)におけ
る行事の企画・運営に協力し、それらの活動を通して、上記の目的を達
成。●3.上記の活動を実施するための定期的なミーティングを開催。
(毎月第3土曜日10:00～12:00)●4.「くるみカフェ」に参加し、共に
活動。(毎月第3土曜日14:00～16:00、ほかレモネードスタンド:小
児がん募金活動など)●5.石川県がん安心生活サポートハウス「はな
うめ」の行事に参加。(患者家族向け行事、リレーフォーライフ:がん患者
支援・啓発活動など)●6.その他目的を達成するための地域・ボラン
ティア活動に参加、全国的な活動を学び、自グループの活動報告のため
の関連学会への参加。

活動 ●4月:新入生歓迎会、ウォーキング雨天の為中止(屋内で絵りと
報告 り等)●5月:勉強会、葉草ツアー●6月:ミーティング(今後の方針
について)、茶道体験(運営補助)●7月:勉強会の報告会、男→紙飛行機
飛ばし、女→クラッカー作り●8月:草木染め(参加及び運営補助)●9月:
子どもと交流、福祉用具ブラザ見学、子どもの性に関する講義●10月:科
学教室(光の勉強)の参加及び運営補助、座談会、金城祭にてサークル紹
介●11月:クリスマス会打ち合わせ、ぶらり金沢城散歩、伊川先生の座談
会●12月:クリスマス会(プラ板作り、伝言ゲーム、箱の中身はなんだ
ら、ビンゴ大会)●1月:ミュージックタイム●2月:3年生以下への引き継
ぎ、旧代表挨拶、新代表挨拶●通年:Instagram、Twitterにて活動周知

児童文化研究会

活動 パネルシアター製作、ペープサート製作
内容 手袋シアター製作



活動 毎週月曜日を活動日として活動を行いました。しかし、今年度
報告 は、コロナウイルス感染症の影響で集団での活動を自粛したた
め、毎年行っているキッチンカー等の学外でのパネルシアターの発
表や合宿での着ぐるみ製作もできませんでした。そのため、今年度は
集まって行う活動の時間を短縮するために、材料と製作方法を伝え、
製作は自宅での製作を基本としました。そうすることで、個人の製作
能力は向上しました。

しゅわっち

活動 月に2回程度、Google Classroomでのミーティング機能を使用して
内容 オンラインで手話の勉強をしています。日常生活で使用する手話
と看護の現場で必要となる手話を勉強しています。参考書やDVDを使
用して勉強しています。手話検定の受験勉強も行います。

活動 希望者は手話検定を受験して、3級・4級を取得しています。
報告

卓球部

活動 新型コロナウイルスの影響で大会の中止もありましたが、練習
内容 以外でのマスクの着用、休憩ごとの手指消毒や換気、練習後の
台の消毒などのコロナ対策を万全にした状態で、大会までの限られ
た時間を有効に活用して練習を行いました。例年より練習試合や対
外試合が行えない状況下で試合感を失わないために練習メニュー改
善などの工夫を行い、開催された主要大会では多くの結果を残すこ
うことができました。大会に出場する際にもコロナ感染対策を部員全員
で徹底しました。

活動 昨年に比べて大会も徐々に開催されるようになり、インカレ予
報告 選を兼ねた北信越学生春季大会では団体・シングルス・ダブル
スで三冠を成し遂げ、インカレ本戦では一昨年ベスト4であった青
山学院大学に勝利するという名譽ある成績を残しました。全日本大
学総合選手権大会・個人の部で上位者しか出場することのできない
全日本学生選抜選手権ではベスト16に入るという成績も残してい
ます。国民体育大会は開催されませんでしたが、8名が予選を勝ち抜
き、各県の代表となりました。

ダンス部

活動 ●週2～5回の練習。●合宿(今年度は新型コロナウイルス感染
内容 防止のため中止)●地域や福祉施設でのダンスパフォーマンス
披露。(今年度は新型コロナウイルス感染防止のため金沢マラソン応
援ステージボランティアのみ参加)●石川県大学ダンス連盟で他大
学のダンス部と共に舞台発表。(今年度は新型コロナウイルス感染
防止のため、中止)●定期公演開催。

活動 昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大により、ほとん
報告 の行事が中止となりました。その中で、毎年行っている定期公
演だけは、公式行事として認めていただき、何とか無事開催するこ
うことができました。19回定期公演「19ぜ!」は、12月26日に野々市文
化会館フォルテで開催しました。昨年度同様、
観客はダンス部関係者(家族など)学校関係
者のみとし、オンライン配信を行いました。
定期公演本番終了から2週間の自粛を行い、
感染者、体調不良者は報告されておらず、無
事公演を開催することができました。



男子バレーボール部

活動 金城大学からの活動支援に感謝し、バレーボールを通じて多くの
内容 人々と親睦を深め、社会から愛される魅力ある人格を養い、何事
にも自らが主体的に計画・実行できる体力・精神力・知識力を身につけ、本
学に学ぶ学生として健全な成長を図ることを目的としています。目標は、
北信越1部リーグ優勝であり、インカレでも注目チームとなることです。
【活動日】月、水、木、土曜の4回
【活動場所】本学アリーナおよび市民体育館

活動 ●春季北陸三県大会1部⇒中止 ●春季北信越大学選手権大会2
報告 部⇒中止 ●石川県バレーボール祭⇒中止 ●白山市体育大会(バ
レーボール競技)⇒中止 ●東日本バレーボール大学選
手権大会⇒中止 ●天皇杯皇后杯石川県予選大会⇒
出場辞退 ●秋季北陸三県大会1部⇒中止 ●秋季北信
越大学選手権大会⇒出場辞退 ●石川県6人制男女バ
レーボール交流会⇒出場辞退 ●石川県ウィンタ
ーリーグ⇒中止



VORABO

活動 10月 学内にて災害ボランティアの出前講座
内容 11月 白山市で白山市社協主催のボランティアセンター運営訓練に参加
活動 学内に石川県災害ボランティア協会の方を講師としてお招きし、災害
報告 ボランティア勉強会を行いました。白山市鳥越地区にて白山市社会
福祉協議会主催の災害ボランティアセンター運営訓練に参加しました。

学生活動支援費から援助金を交付しているクラブ・同好会の活動報告については、以下の通りです。

男女バスケットボール部

活動内容 練習では、チームとして何が必要かをメンバーで考えて活動しています。メンバー同士で確認・話し合うことで切磋琢磨し、よりチームとしての結束力を高めています。男女混合の部活動のため、お互いに協力し合い、和気あいあいとした雰囲気です。部員の歓送迎会や季節に応じたイベントも行い、楽しく活動しています。大会には積極的に参加し、上位リーグ昇格を目指して頑張っています。

活動報告 ※今年度は全ての大会において、感染症対策にて大会参加を辞退【第55回 笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦（開催地：石川県）】男子/女子：感染症対策にて出場辞退【第4回 石川県社会人連盟 学生チャレンジカップ】男子/女子：感染症対策にて出場辞退【第55回 北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選10月（開催地：石川県・新潟県）】男子/女子：感染症対策にて出場辞退

音楽部

活動内容 夏ライブ、冬ライブ

活動報告 夏ライブは感染対策を考慮した上で、配信機能などを使い部室の前で行いました。冬ライブは感染対策を徹底し、人数制限を設けTheMAT'Sで行いました。

吹奏楽同好会

活動内容 各パート、週1、2回の練習。他団体の演奏鑑賞

活動報告 部員全員、特に初心者の学生が楽しく音楽づくりができるように活動をしています。基礎的な練習を主に行い、新入生を新学期に迎え入れることができるようお互いを高め合い教え合えるように頑張っています。

地域間交流研究会

活動内容 能美市役所、白山市役所、白山商工会議所、農業関連団体、地域各種団体などと連携し、農業体験、地域振興イベントの支援、農産物のPR活動などを行います。

活動報告 新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動できませんでした。

MIX JUICE 100%

活動内容 **活動報告** コロナ禍のため活動自粛

マラソンサークル

活動内容 **活動報告** 今年度は、新型コロナウイルスの影響により活動ができませんでした。

フットサルサークル

活動内容 メンバーほぼ全員で計4回の活動を行いました。このうち3回は、人工芝での活動、1回はサークル初のフローリングの体育館での活動となりました。次年度、新型コロナウイルスの流行が落ち着いたときに交流戦ができるようにメンバーとデザイン案を出し合い、ユニホームを作成しました。

活動報告 年内に計4回活動をしました。フットサルサークル初となるフローリングの体育館の活動では、慣れた人工芝と異なる環境のため、怪我が懸念されましたが、けが人は出ず、良い活動となりました。次年度、他チームとも対戦できるようにポジションを決め、交流戦に向けてユニホームも作成しました。



硬式野球部

活動内容 北陸大学野球連盟加盟校として連盟主催の春季・秋季リーグ戦、新人戦で好成績を収めることを目標に活動しています。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、公式戦と練習ともに例年通りの活動ができませんでした。春季（途中中止）・秋季リーグ戦と新人戦に出場。中日旗争奪北陸私立大学野球選手権大会は、出場辞退しました。練習は実施可能な時期に週2～3日の頻度で感染症対策に注意を払いながら行いました。

活動報告 ●令和3年度 北陸大学野球連盟春季リーグ(2部)⇒大会中止
●令和3年度 北陸大学野球連盟秋季リーグ(2部)⇒5位
●令和3年度 北陸大学野球連盟新人戦⇒初戦敗退
●令和3年度 中日旗争奪北陸私立大学野球選手権大会⇒出場辞退

STサークル

活動内容 STサークルとしてソフトテニスの練習と、新入部員の勧誘を行いました。コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止策や対応をとりましたが練習ができない期間があったため、次年度では活動ができることを期待しています。



リフレッシュメイト

活動内容 様々なレクリエーション活動を行い、学年、男女関係なく交流を深めています。レクリエーション活動では、実際に介護、保育園などの現場で用いられるレクリエーションをいくつか取り入れています。テスト期間に合わせて、勉強会を開き、教え合うことで学力の向上、学習意欲の向上にもつなげています。これらのことを通して、大学内外での生活の充実度を高めています。

活動報告 活動は週1のペースで実施しました。レクリエーション活動では、新型コロナウイルスにより、学外での活動は行わず、学内だけで活動を行いました。人との距離をとり、手指はもちろん使った道具の消毒、適度な換気などの感染対策を徹底しました。レクリエーション活動の具体的なものとしては、ボードゲーム、カードゲーム、クイズなどを行いました。

バドミントンサークル

活動内容 週2～3回、昼休みにアリーナで練習を行いました。毎回の参加者は8名から12名程度でした。軽く準備運動をして、基礎練習を行い、その後試合形式で技術を高めました。11月12日(金)には、外部の体育館を使用し、サークル内で大会を開き、およそ20人が楽しみました。また時々ミーティングを持って、メンバーの親睦を図りました。



Kpopサークル

活動内容 週1回程度の練習を継続して行いました。1月末現在で、発表できる曲が5曲ほどあります。金城祭には動画で参加しました。11月7日(日)には、森本駅前広場活性化協議会主催のイベントで、観客およそ300人の前で発表しました。練習場所の確保は難しいままですが、大型鏡を購入したので次年度からはしっかり練習し、いろいろな機会を見つけて発表していきたいです。

マーチングバンド部

活動内容 **活動報告** コロナ感染拡大防止のため活動休止

ブルスポーツ金城

活動内容 スポールボール、ボッチャ等の練習

卒業証書・学位記授与式

令和3年度卒業証書・学位記授与式、大学院学位記授与式は、新型コロナウイルス感染症が落ち着かない状況を踏まえ、慎重に検討を重ねた結果、安全を考慮して本学笠間キャンパス（社会福祉学部・医療健康学部・大学院）と松任キャンパス（看護学部）で挙行されました。

社会福祉学部147名、医療健康学部82名、看護学部83名の卒業生と、総合リハビリテーション学研究所3名の修了生が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

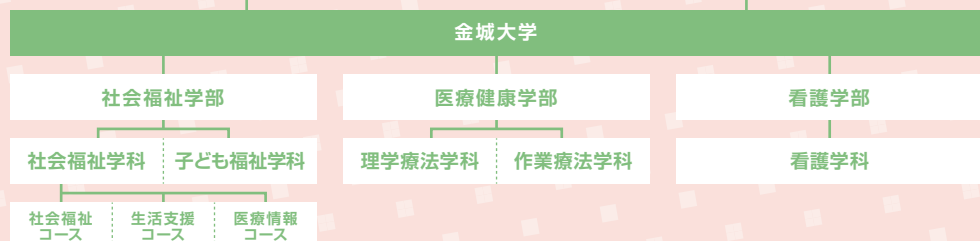


金城大学 学部・学科構成図 一覧

令和4年度 大学行事案内（予定）

令和4年度 入学式 4月 1日(金)

令和4年度 後援会総会 6月18日(土)

第47回 金城祭 10月22日(土)
10月23日(日)公衆衛生看護学専攻科
※2022年4月開設金城大学大学院
総合リハビリテーション学研究所 総合リハビリテーション学専攻

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

入試広報部

フリーダイヤル
0120-276-150TEL(直通)
076-276-5175FAX
076-275-4316E-mail
nyushi@kinjo.ac.jp金城大学後援会
HPはこちらから

KIND

金城大学後援会 会報誌[KIND]第34号 令和4年3月31日発行 編集兼発行:金城大学後援会 事務局
(学)金城学園理事長 加藤真一・金城大学学長 前島伸一郎・後援会会長 高松喜与志(高松機械工業株式会社 代表取締役会長)
〈笠間キャンパス〉石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400 FAX 076-275-4316 〈URL〉<https://www.kinjo.ac.jp/ku/kouenkai/>
〈松任キャンパス〉石川県白山市倉光1丁目250 TEL 076-276-6630 FAX 076-275-6651 〈E-mail〉u-koenkai@kinjo.ac.jp